平成25年	F度事務事業評	平価シート 該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載) 一般事務 公共建設事業 評価対象外事業
事務	· · · · · · · · · · · · · ·	子育て支援ホームヘルプサービス事業
	算科目	3款 2項 1目
総合計画	での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実~やすらぎとぬくもりのまちづくり~ 少子化対策の充実
所管	京課情報	担当課: 子育て支援課 電話番号(内線): 556
記入	者情報	所属長: 山下 佳宏 担当責任者: 大野 舞
事業	美の性格 おんしゅん	│ 法定事務
	施期間	【開始年度】 平成 17 年度 【開始年度】設定なし
事業	美の対象	乳幼児を有する家庭において家族が病気等により、日常生活に支障をきたしている世帯
根拠法令等		
事業の目的		において家族が病気等により、日常生活に支障をきたしている世帯に、ホームヘルパー 引滑にできるよう生活を支援する。
事業の内容	伊予市社協のヘルパー う。	一を家庭に派遣し、食事等の世話、衣類の洗濯、清掃、買い物などの援助を有料で行
改善策の 具体的 取り組み (当初)	利用者が少なく、一般	とに周知されていないため、制度の周知を図るよう努める。
改善策の 具体的 取り組み		

	事業費及び財源内訳						
J	項 目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算		
	直接事業費	270	500	45	286		
事業費	人件費	79	81	40	81		
	合計	0	581	85	367		
	人工数	0.01	0.01	0.01	0.01		
人件費	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135		
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0		
	人件費	79	81	40	81		
	国庫支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
財源内訳	地方債	0	0	0	0		
	その他	25	10	0	0		
	一般財源	324	571	85	367		

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
利用者数	延人数	2	2	2	2

向こう5年間の直接事業費の推移						
午庄	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
年度	500	500	500	500	500	2,500

		成果指標			
成果指標	利用者数				
指標設定の 考え方	本事業は、利用者を対象と	する支援事業であることから	利用者の数を指標とする。		
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度	
目 標	4	5	5		5
実績	2	2	0		0

	自己評価				
		目的の妥当性	4		
	妥当性	市民ニーズへの対応	4	В	
		市の関与の妥当性	4		
自己評価		事業の効果	4		
(担当責任者)	有効性	成果向上の可能性	4	В	
()正コ貝は石/		施策への貢献度	4		
		手段の最適性	3		
	効率性	コスト効率	3	С	
		受益者負担の適正	3		
課題認識	本年度は2件の利用等拡充を図りたい。	ほ績があったが、今後も積極的に制度の周知を図り、ひと はいますが、今後も積極的に制度の周知を図り、ひと ないますが、今後も積極的に制度の周知を図り、ひと ないますが、ますがあったが、今後も積極的に制度の周知を図り、ひと ないますが、ますが、ますが、ますが、ますが、ますが、ますが、ますが、ますが、ますが、	59親対策等の)事業目的の	

一次評価				
		目的の妥当性	4	
	妥当性	市民ニーズへの対応	4	В
		市の関与の妥当性	4	
一次評価		事業の効果	4	
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	4	В
(別禹文)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	4	
	効率性 効率性	コスト効率	3	В
		受益者負担の適正	3	
	利用者に対しての、原	周知方法について検討が必要である。		
課題認識				

	二次評価
二次評価	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
(所属部長)	
	課題認識にもあるとおり、制度の周知に早期に取り組むこと。
意見、課題	

	行政評価委員会の答申		
外部評価 (行政評価委員会)			

	経営者会議の最終判断		
事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。		
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。		